



令和5年7月28日  
国土交通省東北地方整備局  
山形河川国道事務所  
新庄河川事務所  
山形県県土整備部河川課

## 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの進捗状況 ～令和2年7月豪雨から3年～

- 令和2年7月豪雨から3年が経過するにあたり、災害発生から現在までの災害復旧と河川整備の実施概要について発表します。
- 浸水被害の軽減等を目指して緊急治水対策プロジェクトに取り組んでおり、主要対策の河道掘削は、全体計画約90万m<sup>3</sup>（概ね7年間）に対して、本年度までに約59万m<sup>3</sup>（約7割）の掘削を完了させる予定です。
- 今後とも地域と連携しながらプロジェクトを推進し、安全で安心できる地域づくりを目指します。

### ■最上川本川の主要事業（国）

- 河道掘削工事は、全体計画約90万m<sup>3</sup>のうち、今年度内に約59万m<sup>3</sup>（約7割）を完了予定。
- 白須賀地区（大蔵村）の堤防整備が令和3年度完成。また長島地区（村山市）の堤防整備が今年度（令和5年6月）完成。
- 大久保遊水地（村山市・河北町）の改良、押切地区（河北町）の堤防整備においては、令和5年度から工事着手。

### ■最上川支川の主要事業（県）

- 災害復旧は、令和4年度までに全箇所（71河川244箇所）完了。
- 白水川の堤防復旧・嵩上げが令和4年度完成。
- 大旦川の暫定調節池が令和5年6月に完成し運用開始。
- 新たに河川整備を行う和田川、小鶴沢川、月布川、古佐川、五十沢川の5河川について、令和3年度に河川整備計画に位置づけ、令和4年度事業着手。早期の工事着手に向け調査設計等を実施。

### ■その他

- 令和2年7月豪雨から3年、令和4年8月洪水から1年に関する行事を実施中（予定含む）
  - ・特設WEBサイトの更新
  - ・水害伝承・巡回パネル展（9月4日（月）まで）
  - ・最上川上流危機管理演習

《発表記者会》山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、酒田記者クラブ、  
鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙

問合せ先

○国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

TEL 023-688-8421 (代表)

副所長 (河川) やまかげ 山影 しゅうじ 修司

○国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

TEL 0233-22-0251 (代表)

副所長 (河川) はたい 畑井 げんすけ 言介

○山形県 県土整備部 河川課

TEL 023-630-2620 (直通)

河川課長 すずき 鈴木 けんいち 賢一

# 【概要】 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト

○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流・上流において、国・県・沿川市町村等が連携し、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を策定（令和3年1月）し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

## 最上川本川の主要事業（国）

- 河道掘削工事は、全体計画90万m<sup>3</sup>に対して、今年度までに約59万m<sup>3</sup>（約7割）の掘削を完了予定。
- 白須賀地区（大蔵村）の堤防整備が令和3年度完成。また、長島地区（村山市）の堤防整備が今年度（令和5年6月）完成。
- 新たに対策を行う、横山・大石田地区（大石田町）、百目木地区（大江町）において、治水対策を検討中。押切地区（河北町）、大久保遊水地（村山市・河北町）においては、令和5年度から工事着手。
- 令和2年7月豪雨洪水被害の記憶を風化させない取り組みとして、「巡回パネル展」を実施中。

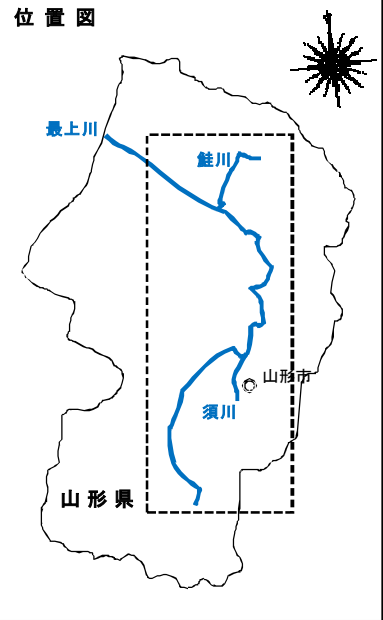
## 最上川支川の主要事業（県）

- 災害復旧は、令和4年度までに全箇所（71河川244箇所）完了。
- 白水川の堤防復旧・嵩上げが令和4年度完成。
- 大旦川の暫定調節池が令和5年6月完成し運用開始。
- 新たに河川整備を行う和田川、小鶴沢川、月布川、古佐川、五十沢川の5河川について、令和3年度に河川整備計画に位置づけ、令和4年度事業着手。早期の工事着手に向け調査設計等を実施。

# R3.1.29 策定

## 最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト ～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～

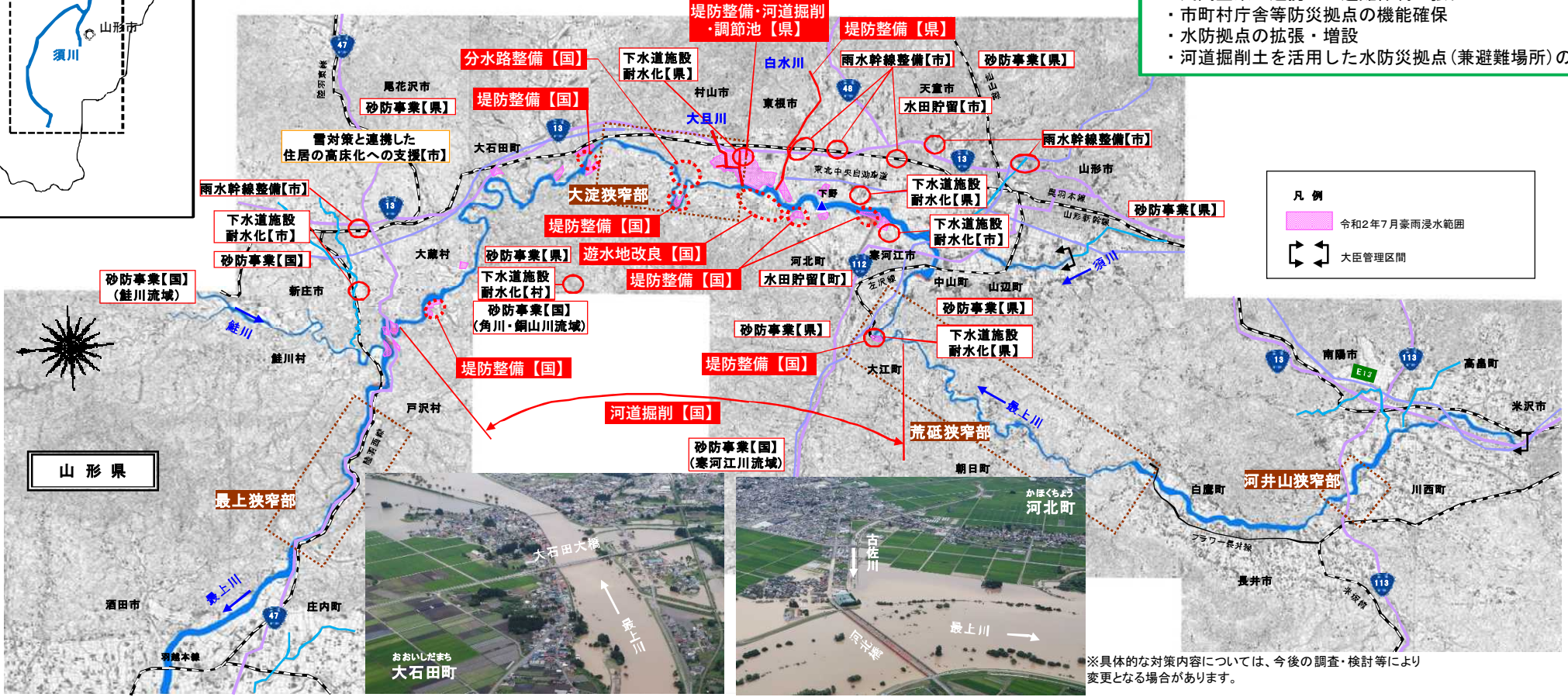
○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地域などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和2年7月豪雨＜中上流部で戦後最大＞及び昭和44年洪水（低気圧）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 河川区域での対策
    - ・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良 等
  - 集水域での対策
    - ・砂防堰堤等の整備
    - ・雨水幹線の整備、貯留管
    - ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力(株)、土地改良区など）
    - ・森林整備・治山対策・水田貯留(田んぼダム)
    - ・農業用排水機場等の整備
    - ・下水道施設(処理場等)の耐水化

- 被害対象を減少させるための対策**
- 氾濫域での対策
    - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
    - ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)
    - ・家屋移転、かさ上げ補助制度の創設
    - ・雪対策と連携した氾濫被害の軽減(高床住宅等)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 氾濫域での対策
    - ・水害リスク空白域の解消
    - ・危機管理型水位計の設置
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
    - ・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
    - ・流域自治体との洪水対応演習
    - ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
    - ・メディアと連携による洪水情報の提供
    - ・まるごとまちごとハザードマップの促進
    - ・広域連携による避難態勢の強化
    - ・民間企業と連携した避難体制の強化
    - ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
    - ・水防拠点の拡張・増設
    - ・河道掘削土を活用した水防災拠点(兼避難場所)の整備



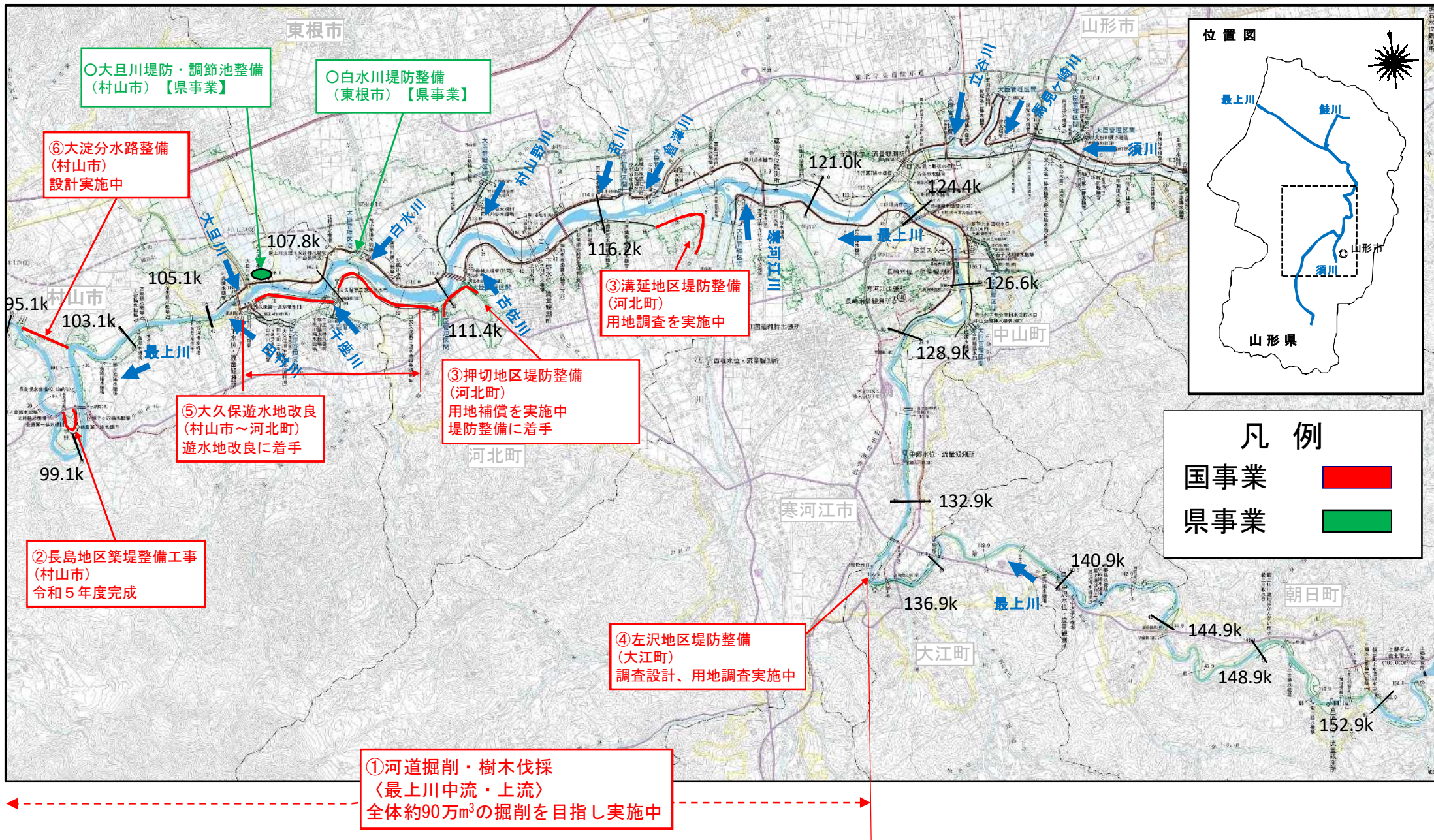
**凡例**

- 令和2年7月豪雨浸水範囲
- 大臣管理区間

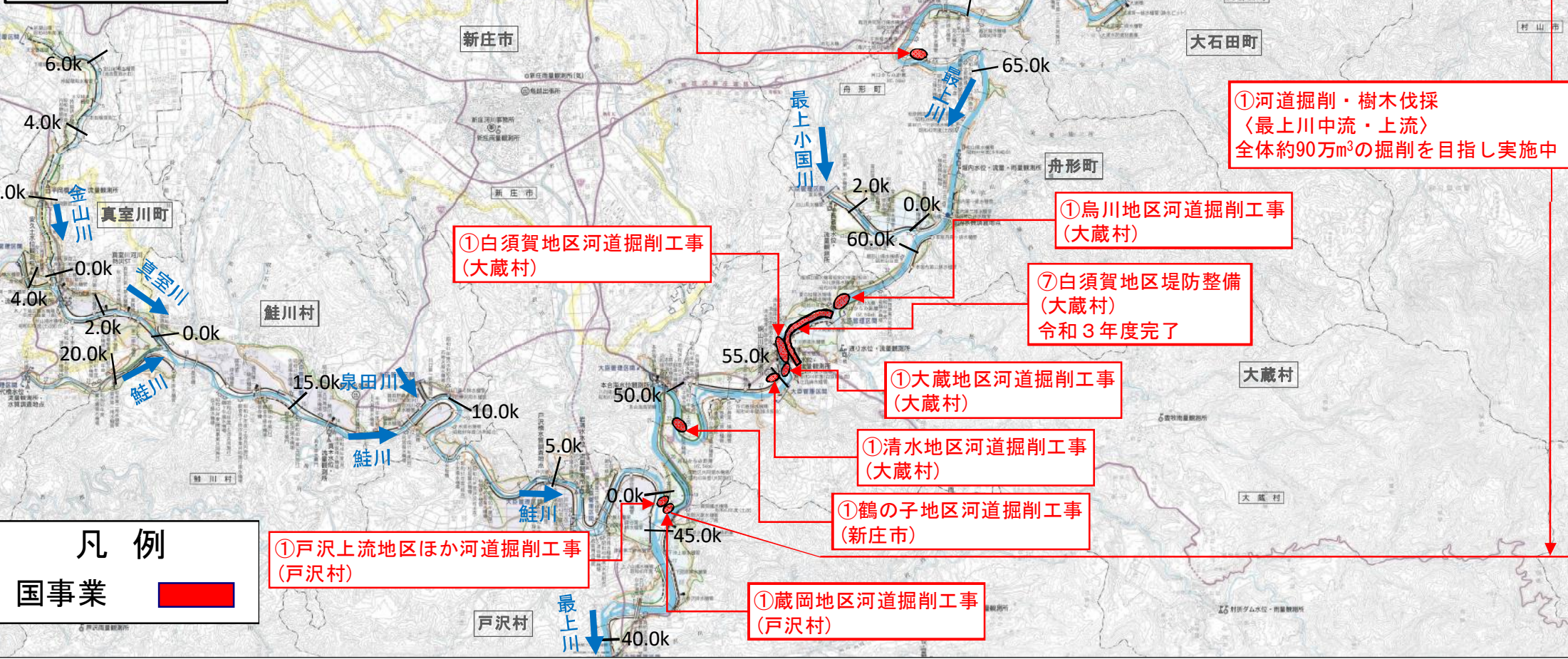
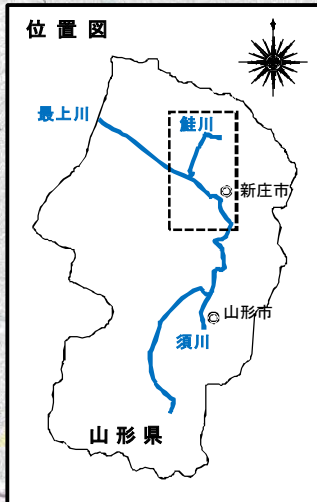
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



# 緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所



# 緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所



凡例

国事業

# ① 河道掘削

○最上川本川で「河道掘削」に着手し、現在推進中。全体計画約90万m<sup>3</sup>のうち、本年度までに約59万m<sup>3</sup>（約7割）の掘削を目指し施工中。令和8年度完成予定。

## 工事状況



最上川中流毒沢地区河道掘削工事



## 令和4年度完了箇所



最上川上流吉田地区河道掘削工事

## 令和4年度完了箇所



最上川中流血島地区ほか河道掘削工事

## 令和5年度までに掘削完了予定の土砂の量の合計

掘削土59万m<sup>3</sup>

小学校のプール

=

× 約1,230 杯分

※25m × 16m × 1.2mで計算



# ② 長島築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施し、令和5年6月完成。

施工前



完成箇所



令和5年6月8日撮影

堤防整備イメージ

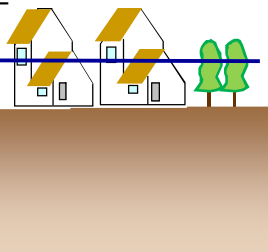
パラペット

かさ上げ盛土

▽R2.7 洪水水位

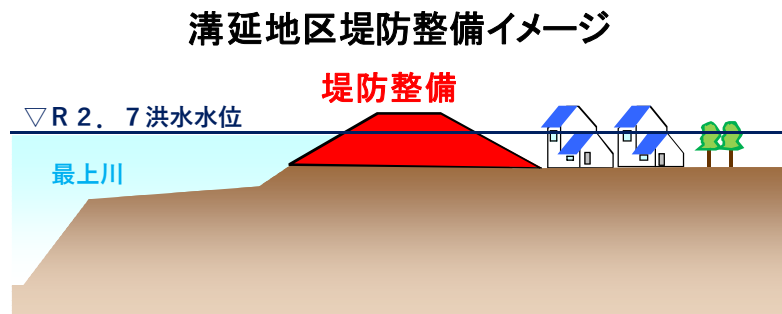
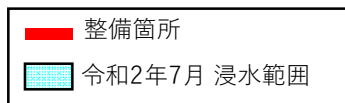
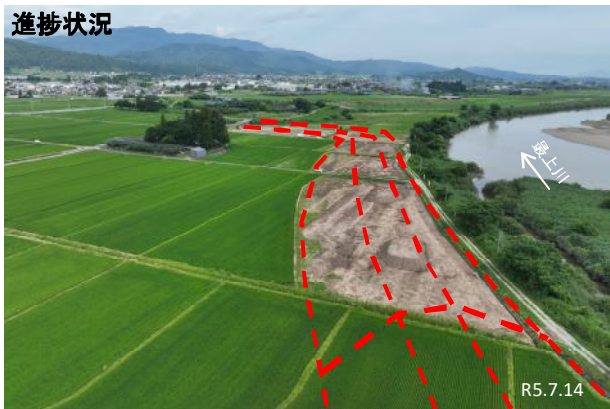
最上川

暫定堤防



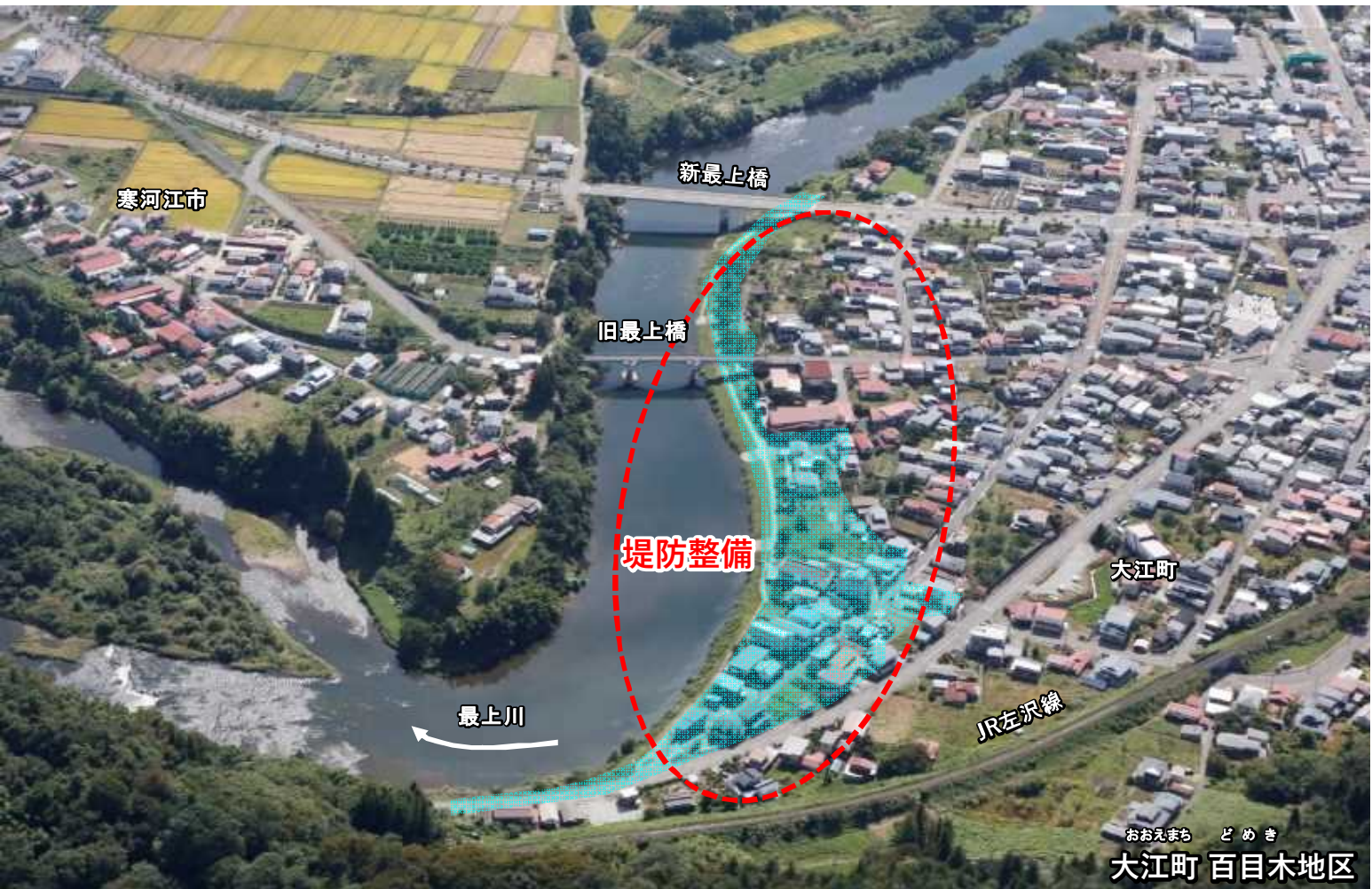
# ③ 押切築堤 溝延築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。  
 本年度は押切地区において工事着手。用地調査・用地補償を実施  
 溝延地区においては用地調査を実施中。



# ④ 左沢（百目木）築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。  
早期の工事着手に向け調査設計および用地調査を実施中。



— 整備箇所  
 令和2年7月 浸水範囲

※堤防の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。



地元説明会開催状況

R5.4月

# ⑤ 大久保遊水地改良

○下流区間の河川水位を低減させるため「遊水地改良」を実施。  
今年度工事着手。



【遊水地改良イメージ】

▽R2.7洪水水位

最上川



越流堤嵩上げ

遊水地

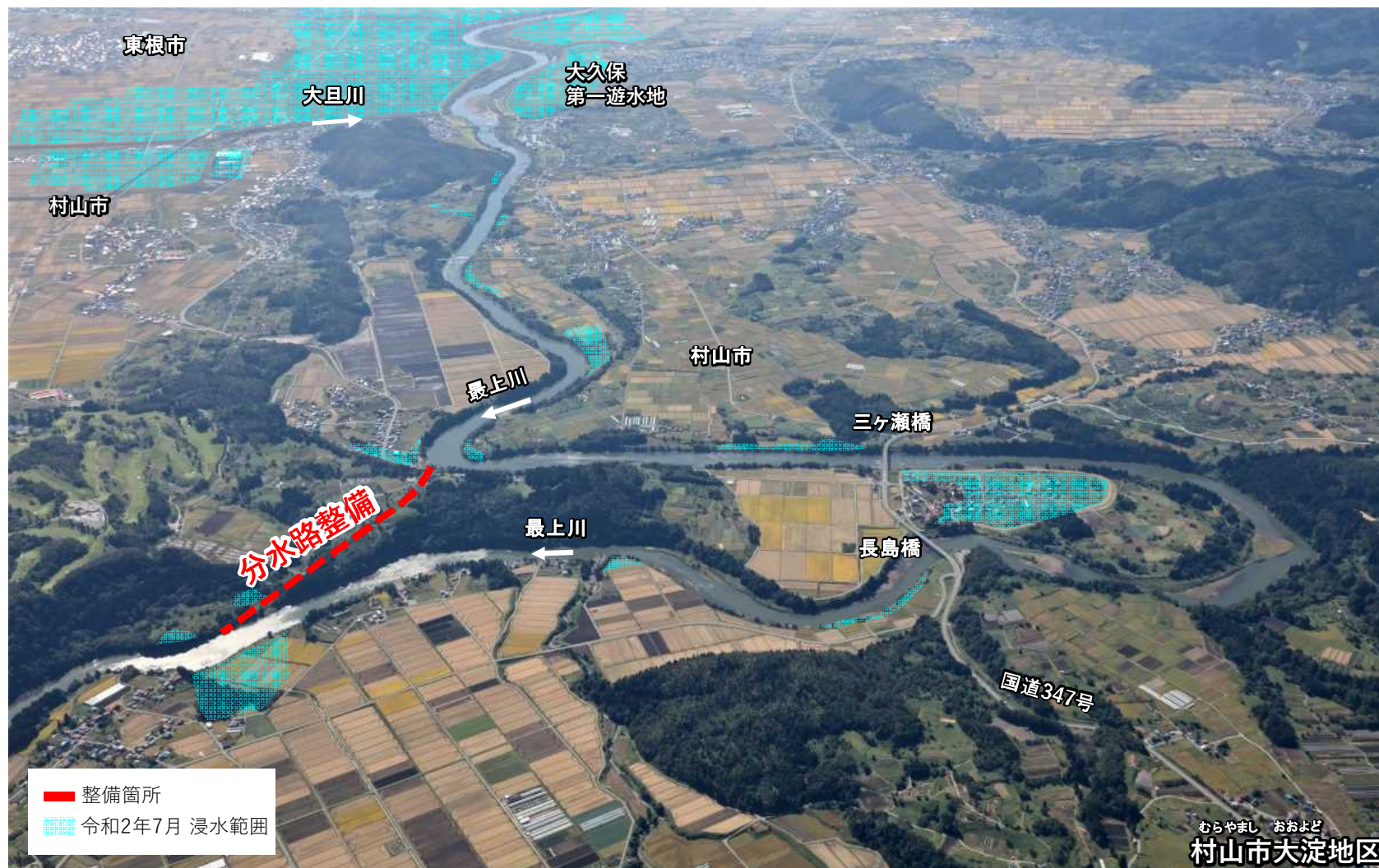
既設越流堤

越流堤を嵩上げすることにより、洪水のピーク時に貯留できる量を増加させ、下流の水位を低減。

※遊水地改良の構造等は、今後の詳細検討により決定します。

# ⑥ 大淀分水路

○洪水流下のネック箇所となる大淀地区に「分水路整備」を実施。  
早期の工事着手にむけ、地質調査、環境調査、設計業務等を実施中。

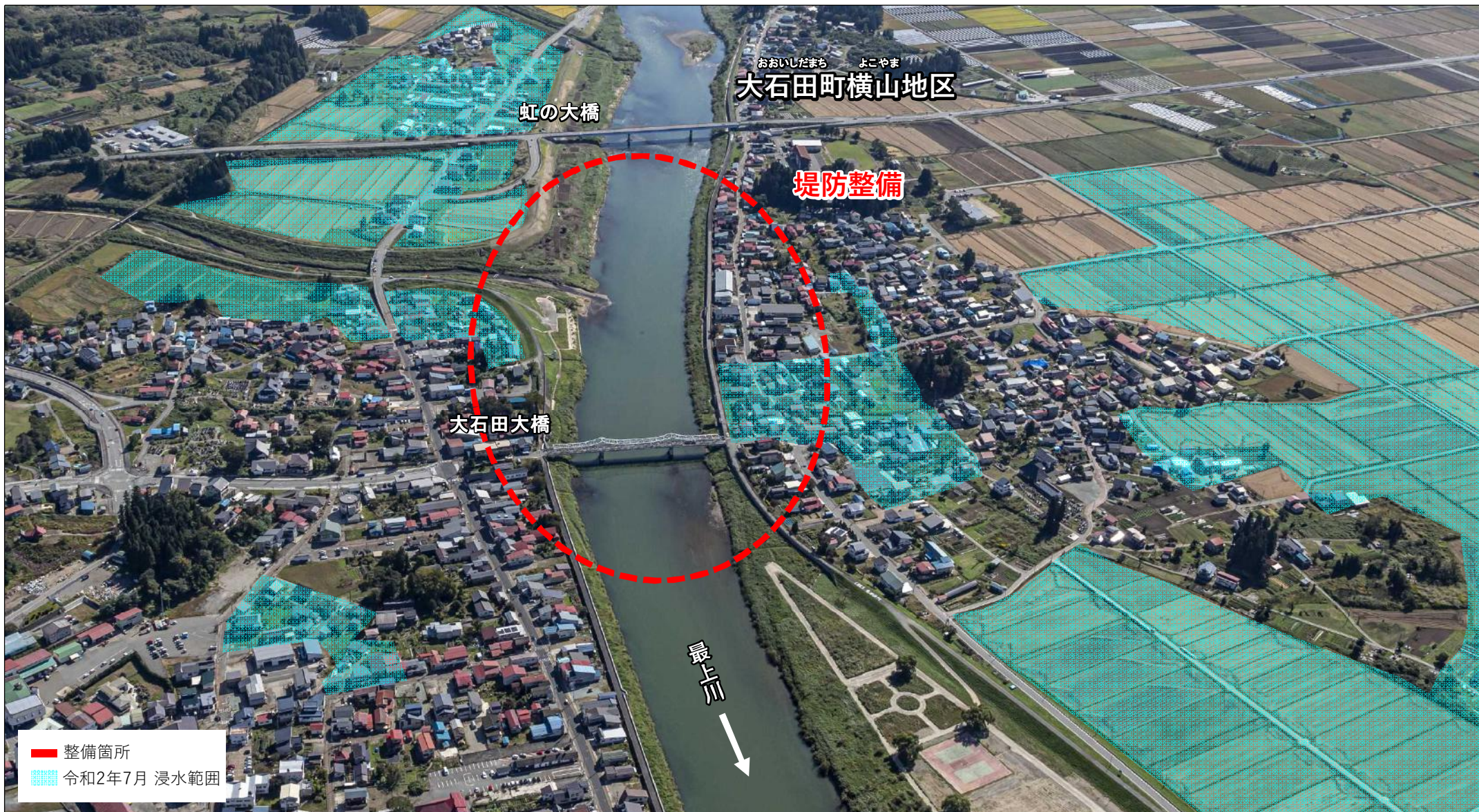


※分水路の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。

⑦

よこやま おおいしだ  
横山・大石田築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。  
早期の工事着手に向け、調査測量設計および用地調査を実施中。



※堤防の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。

# 大旦川堤防・調節池整備、白水川堤防整備 【山形県】

## 大旦川

(村山市河島 外)

【被災状況(R2. 7月)】

浸水面積406ha  
床上浸水29戸、床下浸水14戸

- 最上川水位上昇に伴い大旦川水門が閉鎖し、浸水被害が発生
- 令和5年6月22日に調節池を一部運用開始



被災状況(R2.7月)



大旦川の水を一時的に貯めることで、令和2年7月規模の豪雨での家屋浸水を解消

施工状況(R5.6月)

## 白水川

(東根市松沢 外)

【被災状況(R2. 7月)】

浸水面積220ha  
床上浸水5戸、床下浸水20戸

- 最上川のバックウォーターで堤防決壊し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に堤防復旧・嵩上げが完成



被災状況(R2.7月)



施工状況(R4.10月)

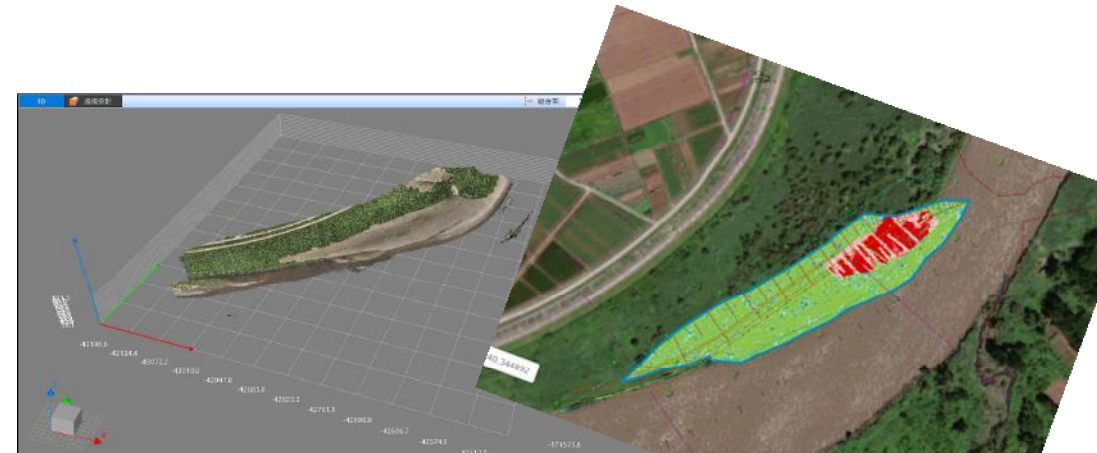
# ICT施工の推進・掘削土砂の活用

- 国土交通省全体でi-constructionの推進に取り組んでおり、本プロジェクトにおいてもICT建設機械による施工やUAVを活用した測量等を実施し、生産性の向上を図っている。
- 掘削した土砂は、長島地区の堤防整備工事の盛土材として活用。

## ■ ICT施工の推進

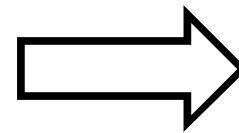


河道掘削工事においてICT建設機械を使用



UAVによる点群測量を実施し、河道掘削形状、掘削土量を算出

## ■ 掘削土砂の活用



河道掘削工事において掘削した土砂を、長島地区の築堤工事の盛土材として活用



# 緊急治水対策プロジェクトの予定

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
河道掘削	河道掘削工事									
白須賀地区堤防整備	堤防整備									
横山・大石田地区堤防整備	設計			用地			堤防整備			
大淀分水路整備	設計			用地			分水路整備			
大久保遊水地改良	設計		設計・用地			大久保遊水地改良				
長島地区築堤整備	築堤整備									
押切地区堤防整備	設計	設計・用地		堤防整備						
溝延地区堤防整備	設計		用地			堤防整備				
左沢地区堤防整備	設計		設計・用地					堤防整備		

※現時点の予定であり、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

# 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況（ソフト対策）

## 特設WEBサイト充実化

緊急治水対策プロジェクトの内容や取組み状況を紹介するとともに、復旧状況を確認できます。

【最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト】  
(<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/project/>)

【最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト】  
(<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/project2/>)



【最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト】



【最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト】

## まるごとまちごとハザードマップ 痕跡表示

近年洪水での被害の記憶を風化させないため、浸水被害のあった河北町溝延地区に痕跡看板を設置しました。

今年度は、長井市の3地区において想定最大規模降雨での浸水看板を設置予定です。（長井市舟場地区・屋城町地区・東町地区）



## 小学生向け防災講座

自分達が住む地域の水害の可能性や、洪水への事前の備え、避難の重要性に関する防災授業を行いました。

（7月3日 山形市立山形第二小学校）



# 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況（ソフト対策）

## 巡回パネル展

水害からの備えを忘れないよう、令和2年7月豪雨や令和4年8月出水の振り返りとして巡回パネル展を開催中です。  
(7月21日～9月4日)



## イベント時における水防災啓発活動

日本一の芋煮会などイベント開催時における水防災啓発活動（降雨体験など）を実施します。

